

日出町告示第84号

平成29年第3回日出町議会定例会を次のとおり招集する

平成29年8月25日

日出町長 本田 博文

1 期 日 平成29年8月31日

2 場 所 日出町議会議事堂

○開会日に応招した議員

衛藤 清隆君	岡山 栄蔵君
阿部 真二君	上野 満君
金元 正生君	川西 求一君
岩尾 幸六君	土田 亮治君
池田 淳子君	工藤 健次君
安部 三郎君	森 昭人君
佐藤 隆信君	熊谷 健作君
佐藤 二郎君	白水 昭義君

○9月4日に応招した議員

○9月5日に応招した議員

○9月26日に応招した議員

○応招しなかった議員

なし

平成29年 第3回(定例)日出町議会会議録(第1日)

平成29年8月31日(木曜日)

議事日程(第1号)

平成29年8月31日 午前10時00分開会

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 承認第7号 平成29年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算(専決第1号)について

日程第7 議案第43号 平成29年度日出町一般会計補正予算(第2号)について

日程第8 議案第44号 平成29年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について

日程第9 議案第45号 平成29年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

日程第10 議案第46号 平成29年度日出町介護保険特別会計補正予算(第1号)について

日程第11 議案第47号 平成29年度日出町水道事業会計補正予算(第1号)について

日程第12 議案第48号 農村地域工業等導入促進法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について

日程第13 議案第49号 日出町税特別措置条例の一部改正について

日程第14 議案第50号 日出町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について

日程第15 議案第51号 日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について

日程第16 認定第1号 平成28年度日出町一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特

別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計及び
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第17 認定第2号 平成28年度日出町水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の
処分について

日程第18 報告第5号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断
比率の算定について

日程第19 報告第6号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比
率の算定について

提案理由の説明

日程第20 発議第1号 決算特別委員会の設置について

追加日程第1 同意第11号 副町長の選任について

追加議案に対する提案理由の説明

追加議案に対する質疑

討論

採決

散会の宣告

本日の会議に付した事件

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 承認第7号 平成29年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第
1号）について

日程第7 議案第43号 平成29年度日出町一般会計補正予算（第2号）について

日程第8 議案第44号 平成29年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
について

日程第9 議案第45号 平成29年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
について

- 日程第10 議案第46号 平成29年度日出町介護保険特別会計補正予算（第1号）について
- 日程第11 議案第47号 平成29年度日出町水道事業会計補正予算（第1号）について
- 日程第12 議案第48号 農村地域工業等導入促進法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備について
- 日程第13 議案第49号 日出町税特別措置条例の一部改正について
- 日程第14 議案第50号 日出町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 日程第15 議案第51号 日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- 日程第16 認定第1号 平成28年度日出町一般会計、国民健康保険特別会計、簡易水道特別会計、公共下水道事業特別会計、漁業集落排水事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 日程第17 認定第2号 平成28年度日出町水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分について
- 日程第18 報告第5号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の算定について
- 日程第19 報告第6号 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定について

提案理由の説明

- 日程第20 発議第1号 決算特別委員会の設置について

- 追加日程第1 同意第11号 副町長の選任について

追加議案に対する提案理由の説明

追加議案に対する質疑

討論

採決

散会の宣告

出席議員（16名）

- | | | | |
|----|--------|----|--------|
| 1番 | 衛藤 清隆君 | 2番 | 岡山 栄蔵君 |
| 3番 | 阿部 真二君 | 4番 | 上野 満君 |

5番	金元 正生君	6番	川西 求一君
7番	岩尾 幸六君	8番	土田 亮治君
9番	池田 淳子君	10番	工藤 健次君
11番	安部 三郎君	12番	森 昭人君
13番	佐藤 隆信君	14番	熊谷 健作君
15番	佐藤 二郎君	16番	白水 昭義君

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	井川 功一君	次長	河野 匡位君
----	--------	----	--------

説明のため出席した者の職氏名

町長	……………	本田 博文君	副町長	……………	今宮 禮二君
教育長	……………	堀 仁一郎君	会計管理者兼会計課長	…	土谷美香子君
総務課長	……………	野上 悟君	財政課長	……………	脇 英訓君
政策推進課長	……………	大塚 一路君	契約検査室長	……………	川野 敏治君
税務課長	……………	岡野 修二君	住民課長	……………	堀 雅之君
福祉対策課長	……………	阿部 孝君	子育て支援課長	……………	佐藤久美子君
健康増進課長	……………	利光 隆男君	生活環境課長	……………	岩尾 修一君
商工観光課長	……………	藤原 寛君	農林水産課長	……………	今宮 明君
都市建設課長	……………	松本 義明君	上下水道課長	……………	佐藤 義人君
教育委員会教育総務課長	…	藤本 英示君	教育委員会学校教育課長	…	浅野 邦広君
生涯学習課長	……………	佐藤 寛爾君	文化振興室長	……………	工藤 智弘君
代表監査委員	……………	堀 寛爾君	監査事務局長	……………	宮本 洋二君
総務課課長補佐	……………	帯刀 志朗君	財政課課長補佐	……………	白水 順一君

午前10時03分開会

○議長（白水 昭義君） 皆さん、おはようございます。

開会、開議の宣告

○議長（白水 昭義君） ただいまの出席議員は16名です。定足数に達していますので、平成29年第3回日出町議会定例会を開会いたします。

今期定例会に提案されております議案につきましては、後ほど説明がありますが、承認1件、議案9件、認定2件、報告2件が提出されています。議員各位におかれましては、慎重に御審議を賜り、適切な議決をいただくとともに、議事運営全般にわたり格別の御配慮と御協力をお願いいたします。

これより本日の会議を開きます。会議の議事は、お手元に配付しております議事日程により行います。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（白水 昭義君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、5番、金元正生君、12番、森昭人君を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（白水 昭義君） 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、今月25日の議会運営委員会におきまして、本日から9月26日までの27日間という案を作成しましたが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から9月26日までの27日間に決定しました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（白水 昭義君） 日程第3、諸般の報告を行います。

最初に、去る7月31日に大分県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会が、大分市の大分県医師会館で開会されましたので、その概要を報告いたします。

まずはじめに、議長選挙が行われ、大分市議会選出の阿部剛四郎氏が当選いたしました。

次に、議案第9号監査委員の選任に関し議会の同意を求めることについては、議会選出の監査委員に、大分市議会選出の仲家考治氏を選任するという人事案件が提出され、全員一致で同意されました。

次に、議案第10号平成28年度特別会計補正予算（第3号）専決処分については、歳入歳出

それぞれ14億4,021万2,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を1,892億9,741万6,000円にするものです。国・県・市町村の支出金や支払基金交付金の額の決定により、予備費等で調整したものです。全員一致で承認されました。

次に、議案第11号平成29年度一般会計補正予算（第1号）については、歳入歳出それぞれ4,648万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を8億3,332万2,000円にするものです。歳入では繰越金を、歳出では財政調整基金積立金を4,648万1,000円増額しております。全員一致で可決されました。

次に、議案第12号平成29年度特別会計補正予算（第1号）については、歳入歳出それぞれ79億7,718万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を2,007億7,602万8,000円にするものです。歳入では、市町村支出金を5,060万9,000円、国庫支出金を7億9,141万4,000円、繰越金を71億3,516万5,000円、それぞれ増額しております。歳出では、総務費を1,570万6,000円、保険給付費を7億9,141万5,000円、諸支出金を57億1,343万3,000円、予備費を14億5,663万4,000円、それぞれ増額しております。全員一致で可決されました。

次に、議案第13号平成28年度歳入歳出決算の認定については、まず、一般会計で、歳入総額7億3,378万4,552円、歳出総額6億8,730万1,753円となっています。特別会計では、歳入総額1,893億5,116万2,354円、歳出総額1,785億1,599万6,775円となっています。全員一致で認定されました。

以上、平成29年度大分県後期高齢者医療広域連合議会第2回定例会の概要についての報告といたします。

続きまして、大分県町村議会議長会主催の議員研修会について御報告いたします。

去る8月3日に日出中央公民館ホールで開催されました大分県町村議会議長会主催の議員研修会は、講師の明治大学名誉教授・自治体危機管理学会会長、中邨章氏から、「防災と危機管理—期待される市町村議会の役割—」と題して講演がありました。

災害が発生したところでも、これまで防災経験が生かされていない。全国の自治体の例を説明しながら講話をしていただきました。これからは、職員数が少ない小規模自治体ほど課題が多く、二元代表制としての「執行部への注文と監視・財源措置の検討」等、議会への期待が大きくなるということで、有意義な研修会でありました。

以上、甚だ簡単ではございますが、大分県町村議会議長会主催議員研修会の報告といたします。

次に、平成29年第1回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会臨時会の概要について、同組合議会議員、池田淳子君に報告をお願いします。9番、池田淳子君。9番。

○議員（9番 池田 淳子君） 去る7月21日金曜日に開催されました平成29年第1回別杵速

見地域広域市町村圏事務組合議会臨時会につきまして、その概要を報告いたします。

別府市議会議事堂におきまして、午前10時30分から本会議が開会されました。

今臨時会は、別府市及び杵築市の広域圏事務組合議会議員の補充に伴い、正副議長の選挙、議席の指定と変更、議会運営委員会委員の選任及び常任委員会委員の選任でありました。

議長は指名推選により、別府市議会選出の松川峰生議員を、副議長は、同じく指名推選により杵築市議会選出の岩尾育郎議員を、それぞれ全会一致で決定いたしました。

議会運営委員会は9委員を選任、その後、欠員中の委員長に別府市議会選出の江藤勝彦議員、副委員長に杵築市議会選出の小春稔議員を選任いたしました。

総務福祉委員会並びに環境衛生委員会に、それぞれ10委員を選任いたしました。その後、総務福祉委員会は欠員中の委員長に杵築市議会選出の阿部長夫議員を、環境衛生委員会は欠員中の副委員長に別府市議会選出の市原隆生議員を選任いたしました。

次に、予算議案2議案を上程し、議第6号平成29年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合一般会計補正予算（第1号）並びに議第7号平成29年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合秋草葬祭場事業特別会計補正予算（第1号）が、原案どおり可決されました。

以上で、平成29年第1回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会臨時会の報告といたします。

○議長（白水 昭義君） 次に、平成29年第2回杵築速見消防組合議会臨時会の概要について、同組合議会副議長、岩尾幸六君に報告をお願いします。7番、岩尾幸六君。7番。

○議員（7番 岩尾 幸六君） 平成29年第2回杵築速見消防組合議会臨時会が、去る7月13日、杵築市議会議事堂におきまして開催されましたので、その概要を報告いたします。

まず、議案第4号杵築速見消防組合補正予算（第1号）については、既存の歳入歳出予算の総額に165万6,000円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ9億1,767万3,000円とするものです。これは、短時間労働者に対する厚生年金保険、健康保険の適用が拡大されたことにより、消防組合勤務の嘱託職員が新たに対象となったため、社会保険料を165万6,000円増額補正するもので、慎重審議の結果、全員一致で可決いたしました。

次に、議案第5号物品購入契約の締結については、日出消防署に配備いたします水槽付消防ポンプ自動車の購入について、現在、落札業者の新日本消防設備株式会社と6,782万4,000円で仮契約しているものについて議会の議決を求めるもので、慎重審議の結果、全員一致で可決いたしました。

以上、平成29年第2回杵築速見消防組合臨時議会の報告といたします。

○議長（白水 昭義君） 以上で、諸般の報告を終わります。

日程第4. 行政報告

○議長（白水 昭義君） 日程第4、行政報告を行います。町長、本田博文君。町長。

○町長（本田 博文君） おはようございます。本日、平成29年第3回日出町議会定例会を開催するに当たり、御通知を申し上げましたところ、議員の皆様には、何かと御多用なところ御出席を賜り御審議をいただきますことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

行政報告を申し上げる前に、去る7月5日から6日にかけての九州北部豪雨では、福岡県朝倉市、大分県日田市などにおいて、河川の氾濫や土砂崩れが相次いで発生し、多くのとうとい命が失われるなど、甚大な被害がもたらされました。亡くなられた方の御冥福をお祈り申し上げますとともに、被害に遭われた皆様方には、心より御見舞いを申し上げます。

本町におきましては、幸いにも被害の報告はありませんでしたが、被災地では住民の生活再建やインフラ復旧が急ピッチで進められております。被災地への支援といたしまして、大分県、大分県市長会・町村会と連携して、日田市へ避難者の健康相談業務などに当たるため4名の保健師を派遣いたしました。また、9月には災害復旧業務に当たるため土木技術職員を1カ月間派遣することとしております。

本町といたしましても、台風シーズンはこれから本格化してまいりますことから、自然災害への備えを進め、一層の防災体制の強化に努めてまいります。

それでは、行政報告を申し上げます。

最初に、町村会県外行政視察についてであります。

6月28日から30日にかけて、大分県町村会の行政視察調査に参加しましたので、その概要を御報告いたします。行政視察先は、石川県河北郡内灘町、羽咋郡志賀町、そして、鹿島郡中能登町の3町であります。

最初に訪問した内灘町は、石川県中部に位置し、西に日本海、東に河北潟を擁し、白山・立山連峰を望む砂丘の町であります。

河北潟の干拓地では酪農が盛んで、石川県の牛乳生産量の約半分を占めており、「ミルク王国ウチナダ」のブランド誕生とともに、ミルクを使った商品の開発と提供が町内各店舗に広がっております。また、北陸新幹線の開通にあわせて、周遊バスツアーの運行企画やドライブマップの作成、観光案内所の設置など、観光客誘致の取り組みを積極的に進めております。

次に訪問した志賀町は、日本海側にある能登半島のほぼ中央に位置しており、能登4市4町とともに日本初の世界農業遺産に認定された町であります。

能登半島には北前船が往来した伝統的な景観が数多く残されており、志賀町の福浦港では日本最古の木造灯台が建つ景観を見ることができ、里海の貴重な資産として次世代に受け継ぐために保全管理を続けております。

また、志賀町に大和ハウス工業が開発した「志賀の郷リゾート」がある関係から、大和ハウス

工業と連携協定を締結して、東京や大阪の本社で志賀町のPRや移住者向けセミナーの開催、常設窓口の設置など、移住・定住促進事業にも積極的に取り組まれておりました。

最後に訪問した中能登町は、能登半島の中部に位置しており、稲作と能登上布で知られる繊維産業の町であります。能登上布は、神代の時代から伝わる伝統の麻織物で、質・量ともに日本屈指の本麻手織上布で、これを起源として起業の支援など従業者をふやし、町の活性化につながる取り組みを進めております。

農業においては、高付加価値米の生産・販売による所得の向上を目指しておりますが、米価の下落などで経営は厳しさを増していることから、地元農協と連携して、カラー野菜のブランド化を進めております。カリフラワー、ゴルゴ、ニンジン、大根等を生産しております。今後は、周年栽培に向けて生産拡大に取り組むこととしております。

訪問した3町とも、特色のあるまちづくりに取り組んでおり、今後の日出町のまちづくりに参考になる視察研修でありました。

次に、日出町戦没者追悼式についてであります。

7月4日、中央公民館におきまして、戦没者の御遺族と関係者約200名の出席のもと、日出町戦没者追悼式を開催いたしました。

戦後72年が経過いたしました。現在の平和と繁栄は、戦禍の中で亡くなられた多くの方々のとうとい犠牲の上に築かれているものであるという事実を、私たちは決して忘れてはなりません。悲惨な戦争を二度と繰り返さないためにも、さきの大戦において亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表し、恒久平和の実現を祈念するものであります。

追悼式当日は、九州を横断した台風5号の影響などから、開始時間を午後に変更しての開催となりましたが、平和のとうとさや戦争の悲惨さを、これからも若い世代に語り継ぐこと、また、その記憶を風化させることなく次世代に継承していくことは、現代を生きている私たちに課せられた重要な使命だと考えております。

次に、日出町消防団操法大会についてであります。

7月23日、安養寺ふれあい広場において、日出町消防団操法大会が開催されました。この大会は、来年度開催される大分県消防操法大会に出場するチームの選考会も兼ねており、それぞれの分団が練習の成果を披露する場でもあります。

大会は、うだるような暑さの中行われましたが、消防団の選手の皆さんは、暑さをものもしない気迫で演技を披露していただきました。競技は小型ポンプ操法で行われ、優秀賞に第4分団が選ばれました。大分県消防操法大会におきましても、日出町代表として優秀な成績がおさめられるよう期待をしております。

次に、日出産カボチャ贈呈式についてであります。

8月4日、平成29年度カボチャのブランド化事業として、ことし生産された高糖度カボチャ100キログラムを、JAと共同で日出総合高等学校へ贈呈いたしました。

日出総合高校からは、町のブランド化に向けた取り組みを後押ししたいとのことから、商業科の生徒を中心に日出町産カボチャを使った商品開発を進める「HIJI SO GOOD プロジェクト」を企画し、高校生ならではの視点で、収穫器具の改良や考案、加工商品の開発や販売、またブランド名の考案などにも総合的に取り組むとお聞きいたしました。

町としても大変喜ばしいことであり、贈呈式では、カボチャを使って新メニュー開発やPRに思う存分取り組んでほしいと激励をさせていただいたところです。

生徒を代表して、江藤理子さんから「一つ一つ大切に使います。積極的に行動し地域を盛り上げたい」とお礼の言葉がありました。

若い方の感性やアイデアを取り入れながら、町を代表するブランド品に育てていくとともに、これらの活動を通じて、地域をさらに盛り上げていただけるものと期待しているところです。

次に、コープおおいた移動販売車運行開始式についてであります。

8月7日、生活共同組合コープおおいたの移動販売車「ふれあいコープ便」の運行開始式が、南端目刈区の公民館で行われました。

これは、3月28日に日出町と同組合が締結した、ふれあいで支える地域づくり包括連携協定に基づく買い物弱者支援事業の取り組みであります。

「ふれあいコープ便」は、毎週月曜日、南端・豊岡地区内の9カ所を回り、食品・生活雑貨などの販売を行います。

高齢化が進み、日常の買い物が困難になる方がふえてきております。地域で安心して暮らせるよう、住民の皆さんに大いに利用していただきたいと思っております。

以上、甚だ簡単でございますが、行政報告とさせていただきます。

○議長（白水 昭義君） これで、行政報告は終わりました。地方自治法第121条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めましたので御報告します。

日程第5. 委員長報告

○議長（白水 昭義君） 日程第5、委員長報告を行います。

平成29年第2回定例会において、閉会中の審査に付された所管事務調査等の結果について報告を求めます。総務産業常任委員会委員長 岩尾幸六君。7番。

○総務産業常任委員長（岩尾 幸六君） それでは、報告を申し上げます。

総務産業常任委員会は、閉会中の7月28日に、町営住宅の今後の計画と川崎工業団地の改修事業の調査並びに所管各課の事務調査を行うため、全委員出席のもと、町長以下、所管各課課長

の出席を求め委員会を開催いたしましたので、その内容を報告いたします。

まず、町営住宅の今後の計画であります。都市建設課より町内6カ所の町営住宅の建設年数や入居者戸数、募集状況の説明がありました。

まず、建築年数の古い順では、市の原住宅が築50年で一番古く、次に49年経過の川崎の青津山住宅、藤原の成田尾住宅である藤原住宅と、県職員住宅を譲り受けた辻間住宅は築42年で、次に豊岡住宅は築37年、一番新しい仁王住宅でさえも築29年であり、約30年近い年数がたっています。

続いて、入居率の説明があり、青津山住宅は103戸中56戸の入居で、入居率54%である。次に、藤原住宅は53戸のうち43戸の入居で入居率81%で、残りの住宅は95%を超える入居率とのことでした。

そして、このように古い住宅ならではの問題として、トイレの形状が上げられ、青津山住宅と藤原住宅、市の原住宅の3住宅はくみ取り式トイレであり、豊岡、仁王、辻間住宅は水洗式トイレであるとの説明がありました。

また、町営住宅の入居募集状況では、築年数の古い青津山住宅は入居募集を停止しており、他の住宅での平成28年度の倍率は、藤原住宅では4戸募集に対し1戸の応募があり0.25倍の倍率、豊岡住宅で2.6倍、仁王住宅では2倍、辻間住宅は4倍であったとの説明がありました。

委員より、青津山住宅の入居率は54%であるので、現在の入居者を上か下の段の住宅に移動してもらい、あいた棟に新たな住宅を建てることは可能ではないか、また、新規町営住宅を町の売り物にすることで、町外の若い年齢層を町内に呼び込めるのではないかとこの意見に対し、執行部からは、今年度計画で公営住宅個別計画検証支援業務の支援事業の中で、さまざまな検証を行いながら、将来を見据えた長寿命化計画や住宅事業に対する効果を見極めて、さまざまな対策を考えていきたいとの回答がありました。

都市建設課のその他として、委員から、糸ヶ浜パークゴルフ場のコース管理と運営に関する質問に対し、管理については職員1名と専門業者さんに委託している。また、運営に関しては、経験のある方を含め臨時職員を3名採用して現地での研修を行いながら、8月末から9月上旬、実際は8月30日の開業でありましたけれども、それを目指しているとの回答でございました。

続きまして、川崎工業団地の交付金事業実施計画の現地調査及び事務調査を行いましたので報告いたします。

現地調査では、工場棟の南棟からF A B棟、東棟へのアクセス路の計画路を見学いたしました。見学中での説明では、東棟の耐震補強工事予定地を確認いたしました。中庭への消防配管、南棟へのエレベーター工事に関しては、東棟の外部での説明とはなりました。

次に、北駐車場で行われている東和運送株式会社の日出営業所の工事現場の視察を行い、事務

所や倉庫、給油所などの配置と今後のスケジュール説明を受けました。

商工観光課の事務調査では、川崎工業団地の交付金事業計画書に基づき、事業説明がなされました。交付金事業の進捗率は34%で、残りの66%は設計段階であり、平成30年3月上旬には完成させていきたいとの説明がありました。

次に、総務課からは、職員採用試験の募集要領と職種ごとの採用者数の報告がありました。

まず、試験日は平成29年10月15日、試験会場は日出中学校で、試験は高卒程度の常識を必要とする試験問題との説明がありました。

次に、採用予定数は事務職員6名、土木1名、建築1名、学芸員1名のトータル9名が採用予定で、受験資格は全ての職種で昭和62年から平成12年4月生まれの17歳から30歳までが対象であります。

また、試験に関しては、障がいを持たれている方の受験も可能との説明がありました。その要件としては、障害者福祉法第15条に定める障がい手帳の交付を受けている方で、自力通勤ができ、かつ介護者なしでの職務の遂行ができる方、また、活字印刷物による筆談に対応できる方が受験資格があるとの説明がありました。

次は、今年度より平成38年までの10年間の定年退職についての推移の報告がありました。

委員より、今年度の採用試験は高卒程度の初級試験で行うとの説明がありましたが、高卒者、大卒者の今後の任用に関しては、どのような判断で行うのかの質問に対して、高卒も大卒者も、一般事務職として同じ土俵にて取り扱うが、給与の格差で差が生じる仕組みであるとの説明がありました。

また、委員より、今年度上級試験を外し初級試験のみにした背景は何なのかの質問に対して、主な理由は応募者に対する受験者数の減少が発生しており、受験内容を緩和することによる受験者の確保を狙ったとの説明がありました。

次に、財政課より2件の報告がありました。

まず、平成29年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算の専決処分についての報告がありました。専決の理由としましては、後期高齢者医療保険において、保険料徴収システムの保険料計算にて誤りが発覚し、還付金133万、還付加算金15万4,000円、補正額は148万4,000円の増額補正を6月30日付で専決処分としたとの説明がありました。

次に、町有地の賃借予定地についての報告がありました。対象地は日出町小路1861番1、面積677平方メートルで、賃借の相手方は、日出やまとこども園であり、賃貸の目的は、こども園の増改築後の庭園として利用予定との報告がありました。

続きまして、政策推進課より、今年3月28日に生活共同組合コープおおいとの間で締結しました、ふれあいで支える包括連携協定の取り組みである移動販売車の運行開始についての説明

がありました。

運行開始は8月7日からで週2日の運行を予定しており、月曜日の販売ルートは南端地区、目刈、高平と豊岡地区の新町、中の三、太田区であります。土曜日の販売ルートに関しては、現在、協議を継続中との説明がありました。

委員より、移動販売ルートに関しては、各地区の区長さんたちの意見も取り入れ、販売ルートの拡大もお願いしたいとの意見も出されました。

税務課からは、平成28年度大分県市町村税徴収実績についての説明があり、町税として、町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税の現年度分と滞納繰り越しの合計での説明を受けました。

まず、調定額は平成28年度は30億6,098万円で、平成27年と比べて1億155万円の調定額の減収となりました。減収の原因は、法人町民税割が落ち込んだために大きく影響が出たとの説明でした。

税収入額は、平成28年度は28億4,178万円で、前年比で3,918万円の減収となりました。

税の徴収率は、平成27年度91.1%から、平成28年度は92.8%と、1.7ポイントの徴収率が向上したとの説明がありました。

続いて、地籍調査成果課税導入に向けた地区説明会の日程についての報告がありました。この報告会は、8月から9月に開催され、藤原、大神、川崎、南端の4地域の公民館やふれあいセンターで個人向け説明会を9回と1回の企業、事業者向けに行うとの報告がありました。

委員より、対象の世帯数はとの設問に対して、町内で2,000名が対象との回答がありました。

また、委員より、農林水産課の地籍調査を行っている地籍係と進捗状況などの確認や協議を行っているのかの意見に対し、課長より、地籍係とはときどき協議しているとの回答に対して、委員より、平成24年の計画が5年おくれになっていることに対して、担当課長ともう少し協議回数をふやし、なぜ業務がおくれているのかの協議を重ねていただきたいとの意見が出されました。

生活環境課より、日出町の補助制度を利用した方が、今年度12件あり、1件当たりの金額は市の大きさによっても異なるが、平均1万9,400円かかっているとの説明がありました。

委員より、町内には高齢者や年金生活者が増加しているため、駆除費用が2万円近くになるとかなりの出費となります。そこで、助成金の限度額を1件当たり現状の6,000円から上限を定めた駆除費の半額助成の検討をお願いしたいとの提案も出されましたが、8,000円から1万円くらいが妥当ではないかとの意見もありました。

農林水産課、農業委員会から、日出産カボチャブランド化推進事業についての説明がありまし

た。

今年度は6名の農家による試験栽培の中で、カボチャの品種「特濃こふき5.6」を用いて1株1玉生産を行い、糖度20度のカボチャ生産を目指してきました。ことし4月に苗1,500本を6名の農家へ配付し、7月10日ごろに生産者ごとに収穫と貯蔵熟成を開始し、7月20日、JA選果場にて1,450個のカボチャが集荷され、糖度を測定した結果、20度を超えたカボチャは約30%ほどの収穫がありました。7月22日に試食会、25日に関東の大田市場への出荷配送を行ったとの報告がありました。

委員より、大田市場での実績はの質問に対して、大田市場では通常産地のカボチャとして取引のため、1キロ300円相当で1個600円との報告でした。

さらに、委員より、1株当たりで通常カボチャとの収穫量と収益を比べると、試験カボチャのほうが安いのではないかとの意見に対し、課長より、一般的には価格は産地化商品のほうが高取引されているのが現状です。来年度からは、特産地を目指した取り組みと、直接販売もにらんだ取り組みも検討していきたいとの説明がありました。

次に、農業委員会委員の報告がありました。

農業委員会委員の辞令交付は7月20日、会長1名、副会長6名の委員と委員の紹介と、7月20日に開催された農業委員会の臨時総会で承認された14名の日出町農地利用最適化推進委員の任命の報告がありました。

最後に、上下水道課より、汚泥の機械濃縮装置の設置工事についての説明がありました。

日本下水道事業団と協定を結び、協定額は3億3,000万、協定期間は平成31年3月29日までとの説明がありました。実際の工事発注は今年度9月から10月を予定しており、現在は発注に向け設計書の打ち合わせ段階であるとの報告がありました。

次に、下水浄化センターの管理棟の塩素混和池の耐震工事についての報告がありました。本事業も日本下水道事業団との協定で、協定額は1億3,000万円、協定期間は平成30年3月31日となっており、工事は12月20日を工期としており、6月末の工事進捗率は32%、7月末で50%の進捗予定で推移しているとの説明がありました。

以上で、所管各課の事務調査報告を終わります。

最後に、当委員会は7月5日から7月7日にかけて、長野県東御市のデマンド交通に関して、また同県の大町市に移住定住促進事業に関する行政視察を行いましたので、その概要を報告いたします。

まず、東御市は平成16年4月に東部町と北御牧村とが合併して誕生した市であり、市の周辺には浅間連山や八ヶ岳の山上と千曲川などが流れ、クルミとブドウの生産が盛んな人口3万805名、面積が112.37平方キロメートルの市であります。

東御市は、合併当初より路線バスや公共交通、市営バス等が混在していたが、昼間の利用者がほとんどいなく、採算割れの路線でありました。平成17年に新たな交通システムへの移管が提案され、平成18年4月に交通システムの基本方針が決定され、デマンド交通が導入されました。

デマンド交通の特徴は、市内5地区より市の中心部へ向かう便を各地区1便ずつ運行しており、玄関先で乗車し目的地まで行けるのが特徴であります。

デマンド交通の維持管理費としては7,700万円で、そのうち市の助成金は年間6,300万円との説明がありました。

デマンド交通の今後の課題としては、利用者が減少する傾向にあること、また、高齢者の増加に伴い自動扉やバリアフリー車両の導入、さらに土日の運行などの検討も必要となっているなど、関係者の声として聞かれました。

東御市の研修を終え感じたことは、日出町のコミュニティーバス運行に関しても、利用者が望む運行時間の見直しや、土日運行に向けた協議を行い、利用率の向上に向けた取り組みが必要であると感じました。

次に、大町市であります。

大町市は、長野県の北西部に位置し、市の北部には3,000メートル級の北アルプスや東部には1,000メートル近い山々がつながり、アルプスからの水が豊富な盆地でありました。

大町市の面積は565.1キロ平方メートルと大変広い市ですが、人口は2万8,666人と日出町とほぼ同じ人口で、合併当初に比べ22%の人口減少に悩まされている市であります。

このような環境のもと、大町市は定住促進協議会を立ち上げており、市民と行政を結集した推進組織を立ち上げ、さまざまな推進事業を開催しておりました。

その1としては、都市部での移住セミナーは年間12から13回実施しております。2としましては、大町魅力体験ツアーは年間3回から4回開催しており、東京駅や横浜駅周辺にて観光客向けの情報発信などを盛んに行っておりました。

また、空き家バンク制度やマイホーム助成制度を初め、市外へ通勤通学する市民へ有料道路料金の半額助成も実施しており、年間50万円程度の助成額であるとのことでした。

また、定住促進住宅として、毎年2棟の新築住宅建設を計画しているが、今年度は5棟を計画しているとの説明があり、移住促進への予算額をうらやましく感じた次第でございます。

移住定住に関しては、近隣の市町村との人口の取り合いはしていなく、人の流れは長野県の北部から南部へと流れており、北部からの移住者を自分の町へ取り込むような近隣との行政間での競争はないとの説明でした。

ただいま報告いたしました視察研修の報告書は、お手元に配付してございますので、御確認をお願いいたします。

以上、甚だ簡単ではございますけれども、総務産業常任委員会の閉会中の審査と現地調査及び行政視察研修の報告とさせていただきます。

○議長（白水 昭義君） 次に、福祉文教常任委員会委員長 岡山栄蔵君。2番。

○福祉文教常任委員長（岡山 栄蔵君） それでは、福祉分教常任委員会の閉会中に行いました行政視察研修、所管各課の事務調査及び現地調査について御報告をいたします。

当委員会は7月25日から27日の3日間、北海道へ行政視察を行いました。なお、視察研修の詳細につきましては、お手元に資料を配付してありますので御参照ください。

はじめに、北海道北広島市へ市民スタッフ、ボランティアが中心となり地域包括ケアシステムの構築に先進的な取り組みで成功している社会福祉法人へ研修をさせていただきました。

研修先の「北広島団地地域サポートセンターともに」につきましては、北広島団地の中にある閉校している小学校を市がプロポーザル方式で選定し、社会福祉法人四恩園が選ばれ、建物につきましては、市と無償貸与で契約をし、平成26年4月より運営をしております。

施設運営のテーマとして、「ともにつくる絆と安心」とし、7種類のサービスを展開しており、特に地域とのかかわりに重点を置き、地域の方々、サークル、団体、企業等に施設内の活動の場を提供し、さまざまな企画や催しを行っています。

中でも、喫茶、キッズスペースでは、世代を超えて楽しむおしゃべりや交流、気軽に立ち寄れる憩いの場所の提供、活動室の宿泊利用では少年団の合宿や企業研修、障がい者スポーツなど、こういったものに提供するなど、地域性や施設の立地条件に合った取り組みを行っていました。

各種行事のマンネリ化など大小ある課題の解決策として、市と地域と事業者が三位一体となって地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいることが印象的でありました。

現在、日出町には、このような取り組みを行っているところはなく、地域包括ケアシステムを構築するための人材育成を行っている段階です。年々増加傾向にある介護保険の今後を見据えて、議会としても研さんを積んで、地域包括ケアシステムの構築に寄与していきたいと考えております。

次に、特色ある図書館運営を行っている小樽市立図書館へ視察研修を行ってまいりました。

当図書館は、大正5年に開設し、北海道で2番目に古い歴史のある図書館で、昭和58年に改築し、現在の建物に至っています。施設の概要などは、先ほど同様、お手元の資料をごらんください。

特色ある取り組みとしては、移動図書館「わくわくブック号」が市内38カ所のステーションを巡回し、図書館から遠い地域にお住まいの方に対して、少しでも読書の機会をふやす取り組みを行っていました。

そのほか、赤ちゃんは大歓迎とし、赤ちゃんが泣くのは当たり前で、館内で泣いても気にせず

本を選べ、赤ちゃんにとっても御家族にとっても心地よい図書館を目指し、赤ちゃんと絵本をつなぐ取り組みも行っていました。

学校とのかかわりについては、小樽市の各小中学校に全て図書館司書が配置され、町立図書館が雇用をしていました。蔵書の購入や蔵書の整理は学校読書センターが行い、購入のリクエストに際しては学校の先生が取りまとめを行い、学校読書センターで購入をしております。

今回の研修では、地域性や開館してからの長い歴史を見ても、非常に長い時間をかけ新しい取り組みを常に行っている様子がうかがえました。日出町の図書館は開館して間もないことありますが、他市町村よりも課題は多くあると思われまます。

蔵書数、来館者数をふやすための現在行っている方策に、新たな方策をプラスして、日出町の特色ある図書館を築いていくため、議会としても、さらに調査研究を重ねていきたいと思っております。

次に、所管委員会、閉会中の現地調査について御報告をいたします。

去る7月10日、教育総務課学校教育課長の出席を求め、委員全員出席のもと学校巡視を行いました。今回は時間の都合もあり、小学校3校、中学校1校の巡視を行いました。目的、内容につきましては、学校の防犯関係、ALT活用事業、その他諸課題について調査であります。

まず、防犯備品の刺股については、現在常備していない学校もあり、委員から、有事の際はどうか対応するのかという質問に対して催涙スプレーを常備していることと、刺股については、現在発注をしているとの回答でありました。

日出小中学校周辺の防犯関係では、誰でも校庭に入れるため、観光客に対しての周遊ルート、注意事項等、外国語表記の看板を設置するよう意見がありました。

中学校に関しては、特別な安全措置はとっていないが、県に現状を確認してもらい、防犯カメラの設置や緊急通報装置の設置を検討しているとの説明があり、今後は日出町で行う防災訓練にかかわり計画をしていきたいとの報告でありました。

次に、ALTについては、ことしに入り1カ月間トレーニングを行い、5月から派遣され事業にかかわっています。カナダ人の現在30歳で、非常に明るく、生徒たちと接している授業を拝見させていただきました。

週に5日間、日出中学校に3日間、1・2年生を中心に授業を行い、大神中学校では2日間、全学年に教えているとの説明でありました。

その他、諸課題につきましては、委員から、川崎小学校区の放課後児童クラブの建設について質問があり、11月中旬には完成予定との説明があり、現在は、三、四十名の子供が利用しているが、新たに利用できる児童クラブは最大60名まで対応できる施設であるとの報告でありました。

その他、委員から、教員の長時間労働について何か対策があるのかとの質問に対して、6月から19時台には帰るように指導しているが、6月中は23時に帰った日が1日、22時以降に帰った日が3日、多い日は20時の段階で10名以上がテストなどの関係で残っていた日が数日あり、教員には、遅くまで残業ではなく朝早く来て仕事をするように指導しているとの回答でありました。

そのほか、委員から、通学路の危険箇所、校内修繕箇所の指摘がありましたが、いずれも予算の関係上、優先順位があり、全てに対応しきれていないのが実情でありました。

次に、閉会中の事務調査について御報告をいたします。

去る8月2日、町長を初め教育長、所管各課長の出席を求め、委員全員出席のもと事務調査を行いました。

まず、教育総務課より、日出中学校、大神中学校のエアコン設置工事について説明があり、進捗状況として9月1日から試運転が開始できる見込みとの説明がありました。

次に、小学校エアコン設置工事について、日出小学校、藤原小学校、川崎小学校のエアコン設置事業に対し、国の学校施設環境改善交付金事業が内定をし、この事業に際しては財政課と協議を進め、平成29年度中に実施設計を行いたいとの説明でありました。

次に、学校教育課より、4月に実施されました大分県学力定着状況調査の結果について説明がありました。

小学校5年では、平成28年まで全体的に向上していたが、今年度は国語・理科で県平均を下回り、中学校2年生では、昨年度より向上が見られるが数学が下降傾向にあることや、英語の活用で偏差値50を下回るなど課題が見られ、今後は各校で結果の分析、指導の改善を進め、12月の町の学力調査などで改善状況を確認していきたいとの報告でありました。

次に、生涯学習課より今後の事業説明があり、第41回豊岡・森子ども会交歓キャンプが8月19日から20日、豊岡地区公民館、豊岡漁港周辺で魚のつかみ取り、史跡めぐりを行うとの説明がありました。今年度の参加者は、日出から29名、森から19名参加予定であるとの報告でありました。

その他、第33回国民文化祭・おおいた、第18回全国障がい者芸術文化祭大分大会が平成30年10月6日から11月25日に開催され、文化祭は事業を独自に展開するため、7月に実行委員会を設立し、企画委員会において内容を現在検討しているとの報告でありました。

次に、町立図書館から夏休み中のイベントとして、7月29日土曜日、ギターのミニコンサートを開催し、30分延長し、60名ほどの参加者のもと、よい雰囲気終了したとの報告がありました。

委員から、視察研修についての質問があり、質問に対して非常によい取り組みが多くあり、ま

ねできるところは取り組んでいきたいとの回答でありました。

次に、文化振興室より、平成29年第1回文化財パトロールについて説明がありました。

7月26日水曜日、午前9時から12時まで、文化財保護委員7名、職員2名で南端地区西精舎跡地にある記念碑の移設後の確認、目刈八幡にある木下俊長が寄進した鳥居、大神地区浮嶋八幡にある町指定有形文化財である鉄製クリス型剣、大神八幡には目刈八幡と同様に木下俊長が寄進した鳥居があり、午前中、パトロールを行ったとの報告がありました。

委員から、今後の文化財の保存修復について質問があり、まだ指定文化財に登録したいものが非常に多く、指定の段階から進めていかなければならないとの回答でありました。

次に、学校給食センターより平成28年度日出町学校給食費決算書の説明があり、その他委員から、以前から協議中の給食センター建てかえについての質問があり、現在は候補地について建設ができるか調査を行っている段階で、建設時期についても現在協議中であるとの回答でありました。

次に、福祉対策課より日出町障がい者条例の制定について説明があり、来年4月の制定に向け検討会の開催を行っているとの報告でありました。

その他、臨時福祉給付金支給事務経過について報告がありました。

支給対象見込み人数5,784人に対して、申請済み人数4,712人、申請率81.47%となっており、未申請の方に再度通知を送るとの説明でありました。

次に、子育て支援課より子ども医療費助成事業の対象拡大に伴う事務の進捗状況及び児童扶養手当、ひとり親家庭医療費助成及び特別児童扶養手当に係る各種届け出などについて説明がありました。

子ども医療費受給資格者登録申請書、拡充分の受け付け状況は、対象世帯1,460世帯に対して申請1,373世帯、申請率94.0%、償還払い申請受け付けの4月から6月分、対象者635人、対象児童数817人、助成額328万2,131円、小学生通院分対象者612人、対象児童787人、助成額299万4,790円、うち5回以上の通院児童が17名との報告でありました。

最後に、健康増進課より平成29年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）専決処分について説明がありました。

専決理由として、当初予算時に想定していなかった保険料軽減判定誤りによる保険料還付金及び還付加算金の発生が要因であり、保険料還付金は6月末に予算不足になり、判定誤りによる還付金のため支払いを遅延させるわけにはいかず、支払いがおくれれば加算金も増大するため、平成29年6月30日付で専決処分を行ったとの説明でありました。

そのほか、国民健康保険の概況、国保広域化に係る平成29年度のスケジュールについて説明

がありました。

以上、閉会中に行いました所管委員会、行政視察研修、所管各課の事務調査及び現地調査の報告といたします。

○議長（白水 昭義君） 次に、議会改革特別委員会委員長 川西求一君。6番。

○議会改革特別委員長（川西 求一君） 議会改革の特別委員会は、閉会中の7月12日、委員全員出席のもと委員会を開催いたしましたので、その概要を御報告いたします。

当委員会の主要課題であります議会中継の審議内容につきましては、7月31日の全員協議会において御報告させていただいたところですが、重ねて御報告申し上げます。

議会中継の実施形態につきましては、これまでケーブルテレビによる広報とインターネットの併用とした実施であることを議会総意の中で決定し、その具体的経費、行程等について調査を行い検討を進めてきたところです。

本町におきますケーブルテレビ、これの普及率によります情報配信の地域間格差をなくすためのインターネットの配信手段の選択であります、どうしても高齢者世帯等におきますテレビに対する見やすさなどから、ケーブルテレビのエリア外に対する情報配信の取り扱いにつきましては、より細やかな具体的検討の必要性があるのではとの委員からの強い意見等がございました。

対応方法としては、数種の提案をもとに、今後、委員会として詳細調査を進め、執行部との連携をとりながら実施に向けた取り組みを行っていくことを確認したところです。

なお、実施時期については、これまで来年度6月議会を目途として検討を行ってまいりましたが、前日の課題等を検討する時間が必要と、これまでに調査を行ってきた具体的行程管理を含め、実施時期につきましては、来年度12月を視野に入れ進めることといたしました。

また、日出町の議会基本条例にありますところの町民との意見交換につきまして、各常任委員長に実施の旨、通知を行ったところです。

今後とも、各議員の皆様の御協力をお願いし、甚だ簡単ではありますが、閉会中の議会改革特別委員会の報告といたします。

○議長（白水 昭義君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 森昭人君。12番。

○議会報編集特別委員会委員長（森 昭人君） 議会報編集特別委員会は、閉会中、7月11日、18日に委員会を開催いたしまして、前6月定例会の内容を報告する日出町議会広報「議会だより」109号の編集作業を行い、26日に区長配付いたしましたところでございます。

以上で報告を終わります。

○議長（白水 昭義君） 以上で、委員長報告を終わります。

質疑・討論・採決

○議長（白水 昭義君） これより委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） なければ、これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） なければ、これで討論を終わります。

お諮りします。ただいま報告のありました各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査の件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査等の件は、委員長の報告のとおり決定しました。

日程第 6. 承認第 7 号

日程第 7. 議案第 4 3 号

日程第 8. 議案第 4 4 号

日程第 9. 議案第 4 5 号

日程第 1 0. 議案第 4 6 号

日程第 1 1. 議案第 4 7 号

日程第 1 2. 議案第 4 8 号

日程第 1 3. 議案第 4 9 号

日程第 1 4. 議案第 5 0 号

日程第 1 5. 議案第 5 1 号

日程第 1 6. 認定第 1 号

日程第 1 7. 認定第 2 号

日程第 1 8. 報告第 5 号

日程第 1 9. 報告第 6 号

提案理由の説明

○議長（白水 昭義君） 日程第 6、承認第 7 号平成 2 9 年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第 1 号）についてから、日程第 1 9、報告第 6 号地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく資金不足比率の算定についてまでの承認 1 件、議案 9 件、認定 2 件、報告 2 件を一括して上程し議題とします。

提出者からの提案理由の説明を求めます。町長、本田博文君。町長。

○町長（本田 博文君） 提案理由の御説明を申し上げます。

本定例会に御提案申し上げますのは、承認1件、議案9件、認定2件、報告2件であります。

以下、順次、その概要を御説明申し上げます。

まず、承認第7号平成29年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（専決第1号）についてであります。

補正をいたしました内容は、保険料軽減判定誤りに係る保険料還付金及び還付加算金の増額を計上しております。

補正をいたしました額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ148万4,000円を追加し、補正後の予算の総額を3億2,553万2,000円としております。

この専決予算は、地方自治法第179条第1項の規定により、6月30日付で専決処分いたしましたので、同条第3項の規定にもとづき、今定例会で御承認を求めるものであります。

次に、議案第43号平成29年度日出町一般会計補正予算（第2号）についてであります。

補正します額は、1億6,648万7,000円で、補正後の予算総額は103億2,463万9,000円となります。

歳出予算の主な内容につきまして御説明申し上げます。

まず、総務費では、マイナンバー制度に伴うシステム改修委託料と佐尾地区にある駐車場の整備費用を計上しております。

民生費では、2つの認定こども園の建設工事費や川崎児童クラブの駐車場舗装工事費を追加計上しております。

衛生費では、子ども医療費助成事業における償還払い分に係る助成金を追加計上しております。

農林水産業費では、大神漁港おもてなし施設整備事業において、トイレの設置に加え休憩所の設置等の工事費を追加計上しております。

土木費では、川崎辻ノ尾地区の急傾斜地区崩壊対策事業に係る工事請負費を計上しております。

消防費では、川崎則次地区にある防火水槽の撤去及び新たに設置する費用を追加計上しております。

教育費では、体育施設管理費として、柔剣道場の整備費用を追加計上しております。

今回の補正予算の財源としましては、普通交付税、前年度繰越金、地方債などにより財源措置しております。

次に、議案第44号平成29年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、前期高齢者納付金の負担率の決定に伴う増額分と前年度決算に伴う繰越金を計上しております。

次に、議案第45号平成29年度日出町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）につつま

しては、洲崎ポンプ場に設置されている機器の修繕に係る費用を計上しております。

次に、議案第46号平成29年度日出町介護保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、前年度決算に伴う繰越金と前年度の国・県補助金の返納金等を計上しております。

次に、議案第47号平成29年度日出町水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、日出町簡易水道事業の統合に伴い、特例的収入及び支出の額を定めたものであります。

次に、議案第48号農村地域工業等導入促進法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備についてであります。農村地域工業等導入促進法の改正に伴い、題名等を改正する必要があることから、関係条例を整備するものであります。

次に、議案第49号日出町税特別措置条例の一部改正についてであります。起業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律等の一部改正に伴い、地域の成長発展の基盤強化に資する事業の用に供する施設に係る町税の課税免除等を行いたいので、条例を整備するものであります。

次に、議案第50号日出町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正についてであります。第7次地方分権一括法による公営住宅法等の改正に伴い、公営住宅入居者である認知症患者等の収入申告義務の緩和等について、条例を整備するものであります。

次に、議案第51号日出町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正についてであります。個人番号を独自に利用するために条例を整備するものであります。

次に、認定第1号平成28年度日出町一般会計及び特別会計の決算につきまして御説明申し上げます。

まず、一般会計の決算につきましては、歳入決算額99億1,386万1,238円、歳出決算額97億4,048万6,997円で、歳入歳出差し引き額は1億7,337万4,241円となっております。

このうち、翌年度に繰り越すべき財源を差し引きますと、実質収支は1億7,284万4,241円の黒字となりました。

また、7つの特別会計の合計決算額は、歳入決算額73億8,701万6,206円、歳出決算額72億4,086万8,139円で、歳入歳出差し引き額は1億4,614万8,067円となっております。

地方自治法第233条第3項の規定により、監査委員の意見書を付して提出いたしております。

次に、認定第2号平成28年度日出町水道事業会計決算の認定及び利益剰余金の処分についてであります。

地方公営企業法第32条第2項の規定により、剰余金を処分することについて議会の議決を求

めるとともに、同法第30条第4項の規定により、決算を監査委員の意見をつけて議会の認定に付するものであります。

収益的収入及び支出につきましては、収入額4億2,616万1,201円に対しまして、支出額3億2,325万752円で、損益計算では当年度純利益8,115万1,284円となりました。

資本的収入及び支出につきましては、収入額2億3,217万1,520円に対しまして、支出額は3億8,941万8,479円で、1億5,724万6,959円の収支不足額を生じましたが、損益勘定留保資金等で補填いたしましたところであります。

次に、報告第5号及び報告第6号につきましては、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定に基づき、平成28年度決算に係る健全化判断比率及び各特別会計の資金不足比率について、監査委員の審査に付し、その意見をつけて議会に報告するものであります。

以上、甚だ簡単ではありますが、本定例会に御提案申し上げます議案につきまして御説明申し上げます。何とぞ慎重な御審議を賜りまして御賛同くださいますようお願い申し上げます。

○議長（白水 昭義君） 提案理由の説明が終わりました。

日程第20. 発議第1号

○議長（白水 昭義君） 日程第20、発議第1号決算特別委員会の設置についてを議題といたします。

お諮りします。認定第1号並びに認定第2号の2件につきましては、議長並びに監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上審査することにしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、認定第1号並びに認定第2号の2件につきましては、議長並びに監査委員を除く全議員で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託の上審査することに決定しました。

お諮りします。ただいま設置されました決算特別委員会の委員の選任につきましては、日出町議会委員会条例第6条第4項の規定により、議長並びに監査委員を除く全議員を指名したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名をいたしました議長並びに監査委員を除く全議員を決算特別委員会委員に選任することに決定しました。

これより決算特別委員会委員長及び副委員長の選任を行います。

委員長及び副委員長の選任の方法は、日出町議会委員会条例第7条第2項の規定により、決算特別委員会において互選することになっておりますので、委員長及び副委員長の互選をお願いいたします。

委員長及び副委員長の互選が終わるまで、ここでしばらく休憩をしたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、しばらく休憩をいたします。決算特別委員会委員の方は、会議室へお集まりください。

午前11時32分休憩

.....

午前11時41分再開

○議長（白水 昭義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

決算特別委員会におきまして、正副委員長の互選が行われ、その結果の報告が議長の手元に参りましたので御報告いたします。決算特別委員会委員長に3番、阿部真二君、副委員長に15番、佐藤二郎君が互選された旨の報告がありました。

以上で、決算特別委員会の設置及び委員の選任を終わります。

ただいま議案1件が提出されました。

お諮りします。議案1件を日程に追加し、追加日程第1として議題としたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、議案1件を日程に追加し、追加日程第1として議題とすることに決定しました。

----- . ----- . -----

追加日程第1. 同意第11号

追加議案に対する提案理由の説明

○議長（白水 昭義君） 追加日程第1、同意第11号副町長の選任についてを上程し、議題とします。

提出者から提案理由の説明を求めます。町長、本田博文君。町長。

○町長（本田 博文君） ただいま上程されました同意1件につきまして、御説明申し上げます。

同意第11号副町長の選任についてであります。現在、副町長に就任いただいております今宮禮二氏の任期が、平成29年9月5日で満了となりますことから、後任者として、日出町226

6番地1、目代憲夫氏、昭和22年5月3日生まれを選任いたしたく、地方自治法第162条の規定により議会の皆様の御同意をお願い申し上げるものであります。

目代憲夫氏は、昭和45年に町職員に採用されて以来、下水道課長、都市計画課長、税務課長、総務課長を歴任され、この間、多年にわたり本町の幹部職員としてすぐれた実績を残されました。行政経験が豊富であり、その人柄は誠実、温厚で住民の信頼も厚い方であり、適任者と考えまして御提案申し上げる次第であります。何とぞ御審議を賜りまして、御賛同くださいますようお願い申し上げます。

○議長（白水 昭義君） 提案理由の説明を終わります。

お諮りします。本日は日程の都合上、委員会付託を省略して審議をいただきたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、委員会付託を省略することに決定しました。

お諮りします。ここでしばらく休憩したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、しばらく休憩します。会議室にお集まりください。

午前11時47分休憩

.....

午前11時56分再開

○議長（白水 昭義君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

.....

追加議案に対する質疑

○議長（白水 昭義君） これより追加議案に対する質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） なければ、これで質疑を終わります。

.....

追加議案に対する討論

○議長（白水 昭義君） これより討論を行います。討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 討論なしと認め、これで討論を終わります。

.....

追加議案に対する採決

○議長（白水 昭義君） これより採決を行います。同意第11号副町長の選任について同意を求める件を採決します。この採決は起立により行います。同意第11号について、これに同意することに賛成の方は起立をお願いします。

〔賛成者起立〕

○議長（白水 昭義君） 起立全員です。したがって、同意第11号については、原案のとおり同意することに決定しました。

ここで、このたび副町長を退任されることになりました今宮副町長に対し、町議会を代表いたしまして一言お礼を申し上げます。

長年にわたり積み重ねてこられた豊富な行政経験を生かされ、工藤前町長、本田町長を補佐するとともに、職員の指導、育成に務められてこられたことに対し、衷心より敬意を表する次第です。今宮副町長におかれましては、今後とも町政発展のためお力添えをお願いいたしますとともに、御健勝、御多幸でありますよう御祈念申し上げます。

ただいま、副町長、今宮禮二君から、副町長退任に当たり発言を求められましたので許可します。今宮副町長。

○副町長（今宮 禮二君） ただいま、白水議長さんより、身に余る議会としてのお言葉を頂戴しました。大変感激をいたしております。加えて御挨拶を申し述べさせていただける時間を賜りました。本当にありがとうございます。

先ほど追加提案の中で、本田町長から、提案の中でも御説明がありましたように、私の任期が来月9月5日で満了することになりました。貴重な時間をいただきまして、一言、議会の皆様方にお礼を申し上げたいと、このように考えております。

私、平成16年、当時は助役ということでありましたけれども、議会の皆様方の御同意をいただき就任をさせていただきました。その後、平成19年4月、地方制度の改正によりまして副町長という役に就任をさせていただいたわけでございます。その後、平成20年に第2期、それから25年の10月の定例会では、第3期目の副町長の承認の御同意を賜りまして、本日まで約3期10年近くになりますけれども、議会の皆様方の、そして職員の皆さん方あるいは町民の皆さん方の御指導、御厚情をいただき、本日こうしてその任務を全うし、任期を終えることができることは、皆さん方の、本当に日ごろの御支援あるいは御協力のおかげと、心から感謝を申し上げます。

日出町は昭和29年5カ町村の合併がございました。その後、歴代町長さんを初め、議会の皆様方のたゆまぬ御尽力で着実に発展をしております。しかしながら、平成10年代に入りますと、地方分権の受け皿あるいは地方財政の健全化といえますか、地方財政が非常に逼迫しており

ましたから、国の健全化を目的に平成の大合併が全国的に推し進められました。

本町でも賛否拮抗した中で、いろんな問題がありましたけれども、一番大きなのは三役が一時不在になったということだろうというように思っております。そうした中で、町の財政も何とか合併になだれ込まなければ、ちょっと難しいのかなという状況でもございました。

そういう状況の中ではありましたけれども、町として、しっかり単独で自立したまちづくりを進めるという決意のもとで、職員、そして議会の皆さん、そして町民の皆さん方と一体となって行財政改革に取り組んできたわけでございます。

そうしたことから、歳入の確保あるいは歳出の削減を進める中で、先ほど申し上げましたように町民の皆さんを初め議会の皆さん、あるいは関係者の皆さんの御協力によりまして、基金も一定程度確保することができる財政状況までたどり着くことができました。

しかしながら、今日の地方自治を取り巻く情勢は、少子高齢化が進み人口減少時代にも入っております。こうした中で、社会情勢も非常に難しい、行政運営が非常に難しい、あるいは、時代になってきていることも事実であり、日出町としても諸課題、たくさんの課題が山積していることも事実でございます。

どうか、議会の皆様には、町民の皆様が住むことに喜びを感じるまちづくり、そして、さらなる町政発展に引き続きお力添えを賜りますようお願いを申し上げる次第でございます。

私も、皆様からいただきました御支援あるいは御厚情、これをしっかり胸に、これからの人生、一步一步、歩を進め、微力でありますけれども、町政の発展に御協力できることを私自身が念願をしているところでございます。

議員皆様には、こういう私でございますけれども、本当に長い間、御支援あるいは御指導いただいてきたことを、心から感謝を申し上げ、変わらぬ御交誼を賜りますようお願いを申し上げる次第でございます。

最後になりましたけれども、日出町、そして日出町議会のますますの発展、そして皆様方お一人お一人の御健勝、御多幸、そして御活躍を心から御祈念申し上げ、意は尽くせませんが、私の退任に当たりましての御挨拶にかえさせていただきたいと思っております。本当に長い間、重ね重ねになりますけれども、御支援あるいは御協力を賜りましたことを、心から感謝を申し上げ、お礼の言葉にかえさせていただきます。本当にありがとうございました。（拍手）

散会の宣告

○議長（白水 昭義君） 以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれにて散会することに決定しました。

本日はこれで散会します。御苦労さまでした。

午後0時05分散会
